

第 260 回理事会報告 (つづき)

新規現職会員 99人(130口)

本年度は、新規加入を促すため、募集リーフレットのデザインをリニューアルするなど工夫をしましたが、前年度までと比較すると加入者が減少しています。

社会経済情勢の変化により先行きが見とおしにくい状況になっていることを踏まえ、引き続き、安心の拠り所となる本会の趣旨を、より一層丁寧に広報することに努めてまいります。

観劇会 126人参加

新型コロナウイルス感染拡大のため、2年間休止していましたが、本年度は開催することができました。300人の募集に対して126人の参加がありました。

(10月6日(木) 御園座 坂東玉三郎 特別公演)

新規退職会員234名(312口)

本年度は234人(312口)の方が退職会員に移行されました。移行率は67.0%で、前年度より約2%減少し、口数では54口の減少となりました。

口数の減少は、有資格者が前年度400人に対し本年度は349人と少なかったことによると思われます。

移行率は、毎年の変動の範囲内だと考えています。

本会の財務状況は堅調に推移していますので、できるだけ多くの方に退職会員に移行していただき、安定した互助組織を維持していただけるよう努めます。

退職互助会説明会について

コロナウイルス感染拡大のため、2年間休止していましたが、本年度は名古屋会場と三河会場の2会場で開催しました。

公益目的事業について

高校の運動部と文化部でそれぞれ5校、1校あたり20万円を助成しました。また、特別支援学校の部活動やそれに準ずる自主的な活動で4校、1校あたり5万円を助成しました。

【運動】岩倉総合(女子サッカー)、杏和(バドミントン)、常滑(剣道)、幸田(卓球)、御津(卓球)

【文化】愛知商業(ユネスコクラブ)、春日井西(吹奏楽)、半田農業(吹奏楽)、岡崎(吹奏楽)、安城農林(吹奏楽)

【特支】名古屋盲(陸上競技)、岡崎聾(和太鼓)、名古屋特支(スポーツ活動)、豊橋特支(ホッパ)

全教互・陳情署名活動にご協力ありがとうございました

本会が加盟している全国教職員互助団体協議会は、毎年社会保障制度の維持と充実等を求めて国会に向けて陳情署名を行っています。本年度も7月発行の広報103号とともにお届けした「全ての世代が安心して暮らせる持続可能な社会保障制度の確立と教職員が教育に専念できる環境整備を求める陳情」署名用紙に826名の方々の署名をいただきました。今後も年金・医療等の社会保障制度の充実を求めて努力していきます。多くの退職会員のみなさまのご協力に感謝するとともに、来年度も是非ご協力をお願いいたします。